

ひらかドーム特別グラウンドルール

当年度のひらかドームにおける決勝大会を円滑な施設運営を行うため、公認野球規則 3.13 に基づき、特別グラウンドルールを作成する。

A 競技場内にベンチライン及び観客席ラインを設置して以下の規定を採用する インプレイ中のボールがこのラインを越えた場合は、直ちにボールデッドとなる (注: 捕球した野手の体の一部のみが入っただけではボールデッドにはならない)

- 1 フェアの打球がこのラインを越えた場合は、走者（打者走者を含む）に 2 個の進塁権を与える
- 2 野手の送球がこのラインを越えた場合は以下の定めに従い 2 個の進塁権を与える
 - ②-① 内野手の最初のプレイに基づく悪送球では、投手の投球当時の各走者位置とする
 - ②-② その他の場合は、悪送球が野手の手を離れた時の各走者の位置とする
- 3 打者に対する投手の投球、または、投手板上からの牽制球がこれを越えた場合は、1 個の進塁権を与える
(注: 打者の四球目、三振目の投球がこのラインを越えても、1 塁が与えられるにすぎない)
- 4 野手が正規の捕球をした後、このライン内に倒れ込んだ場合は、ボールデッドとなり、各走者は野手が倒れ込んだときの占有塁より 1 個の進塁権を得る
- 5 投手の投球が捕手を通過後、さらに捕手または野手に触れて、このラインを越えた場合は投球時の各走者の位置を基準として各走者に 2 個の進塁権を与える

B 打球が天井に当たった時

- 1 ボールインプレイとし、落下した地点で、フェア・ファウルを判定する
(ファウルゾーンの天井に当たった場合でも落下した地点で、フェア・ファウルの判定する)
- 2 地面につく前に正規の捕球がなされた場合は、打者はアウトになり、各走者はリタッチの義務が生じる

C 打球が天井に挟まった場合

- 1 フェア地域の場合、2 塁打（ボールデッド）
- 2 ファウル地域の場合、ファウル